

韓国・朝鮮語は好きなジャンルの自由テーマで応募者を募集しました。コロナ禍の中、原稿の作成からスピーチの練習まで、毎日の講義の合間を見つけ、真剣に練習を重ねてきたことがうかがえました。この大変な状況の中でエントリーをしてくれた皆さんにとっても感謝します。

全体的にはどのスピーチも素晴らしく、韓国・朝鮮語をツールとして適切に運用している姿がとても素敵でした。スピーチの内容には、韓国旅行での出来事、仲間や周りの支えてくれた人への思い、外国語学習者の発声についてなど、様々なトピックがあり、すべての発表者が表彰に値すると思えました。スコアの違いはスピーチ音声をどれほど適切に運用しているのかでした。「聞き取りやすさ」、「リズムの調節」、「語調」など、パラ言語の要素に重点を置いて審査しました。

今回のコンテストに向けて発表者全員が一生懸命取り組んできたと思います。今回の経験を大事にして、これからも頑張ってください。

(朴瑞庚)